

2021年5月14日

各 位

株式会社 福井銀行  
株式会社 福邦銀行

株式会社福井銀行と株式会社福邦銀行の資本業務提携契約の締結について  
～地域経済の発展に向けた包括提携（Fプロジェクト）の加速と深化～

株式会社福井銀行（以下、「福井銀行」といいます。）と株式会社福邦銀行（以下、「福邦銀行」といいます。）は、2021年1月14日に両行間で締結した基本合意書に基づき、資本業務提携契約の締結を目指して協議を続けてまいりました。その結果、本日、福邦銀行の株主総会の承認及び関係当局の許認可等が得られること等を前提として、福井銀行と福邦銀行との間で資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といいます。）を締結し、福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を福井銀行が引受けを行うことといたしましたので、お知らせします。

記

1. 本資本業務提携の目的・理由

人口減少や超低金利の長期化など、金融機関を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものとなることが予想されます。一方で、福井県は中部縦貫自動車道の全線開通や北陸新幹線の敦賀延伸といった地域の発展につながる交通インフラ整備にかかる大きなイベントを控えています。

両行は、長きにわたり、共に福井県を主たる営業基盤とし、地域のみなさまに支えられながら活動してまいりました。それぞれが「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」、「幸せな人間生活と豊かな社会づくりへの貢献」を理念に掲げるなど、両行は今後においても福井県の活性化をその使命・役割とする地域金融機関であり続けます。

2020年3月13日には、両行が相互の強みを活かし、お客さまの成長、発展のためこれまで以上に質の高いサービスを提供していくこと、また目前に迫る地域活性化の機会を最大限に活かし、地域の持続的発展に寄与していくため、両行の連携、協働を目的として「地域経済の発展に向けた包括提携（Fプロジェクト）」を開始いたしました。

両行は、包括提携に基づく連携、協働を進める中で、長期的な超低金利環境の継続や人口減少等の構造的な問題に加え、長引く新型コロナウイルスの感染拡大の継続など、厳しい経営環境の継続を見据え、Fプロジェクトの加速と深化、なかでも業務提携によるシナジー創出の早期実現と効果の最大化に向けた取り組みの加速のためには、資本提携の早期実現が必要であるとの認識を共有し、2021年1月14日付で資本提携に係る基本合意書を締結し、両行で具体的な協議を続けてまいりました。

そして本日、両行は資本提携に係る具体的な内容に合意したことから、本資本業務提携契約の締結に至りました。

両行は、本資本業務提携により引き続き地域における金融仲介機能を発揮してゆくために適切な自己資本を確保するとともに、Fプロジェクトにおける業務提携の更なる加速・深化として、両行におけるシナジー創出の早期実現と効果の最大化が可能になると考えております。また、本資本業務提携後も両行の2ブランドを維持することで、それぞれの強みを活かした金融グループとして一層の地域経済の持続的発展への貢献や、これまで以上に質の高いお客さま向けサービスの提供に努めてまいります。

## 2. 本資本業務提携の内容等

### (1) 業務提携の内容

両行で合意している業務提携の概要は以下のとおりです。両行は、相互の強みを活かし、お客さまの成長、発展のため、これまで以上に質の高いサービスを提供していくこと、また目前に迫る地域活性化の機会を最大限に活かし、地域の持続的発展のため、Fプロジェクトをさらに加速・深化させその効果を最大化させることを目指してまいります。

- ① お客さまに対して
  - (a) 商談会・セミナーの共同開催
  - (b) コンサルティングの機能強化
  - (c) ビジネスマッチング等の連携
  - (d) 事業承継・海外進出等の支援
  - (e) 商品・サービスの共同提案
- ② 地域に対して
  - (a) キャッシュレス社会実現に向けた推進
  - (b) 次世代経営者の育成支援
  - (c) 次世代金融サービスの提供
  - (d) 産学官・地域プロジェクトにおける連携
  - (e) 地域シンクタンクの強化
- ③ 効果的・効率的な業務運営に向けて
  - (a) 店舗戦略における連携（共同拠点）
  - (b) ATMの効率的な運用
  - (c) 本部機能、本部事務の共同化、共通化
  - (d) サブシステム等の共同利用
  - (e) 不動産の有効活用
- ④ 人の融合、未来に向けて
  - (a) 次世代を担う人材による協働企画を通じた職員同士の心の融合と相互の成長
  - (b) 地域価値向上に向けた推進企画
  - (c) 職員向け研修の共同開催

### (2) 資本提携の内容

本第三者割当増資および引受けの概要は、以下のとおりです。

#### <本第三者割当増資の概要>

① 払込日	2021年10月1日（予定）
② 募集株式数	普通株式 33,333,334株
③ 払込金額	1株につき150円
④ 払込金額の総額	金5,000,000,100円
⑤ 福井銀行が取得する福邦銀行の議決権の数および議決権所有割合	議決権の数 33,333個 議決権所有割合 51.98%

なお、本第三者割当増資は、株式会社整理回収機構が保有する福邦銀行の A 種優先株式 6,000,000 株の全てを福邦銀行が金銭を対価として取得し、当該 A 種優先株式の全ての消却が完了していることを前提としております。

本件本第三者割当増資の効力発生により、福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる予定です。

### 3. 両行の概要

#### 【当事会社の概要（2021年3月末時点）】

名称	株式会社福井銀行	株式会社福邦銀行
所在地	福井県福井市順化1丁目1番1号	福井県福井市順化1丁目6番9号
代表者の役職 氏名	代表執行役頭取 林 正博	取締役頭取 渡邊 健雄
事業内容	銀行業	銀行業
資本金	179億65百万円	73億円
設立年月日	1899年12月19日	1943年11月5日
発行済株式数	24,144,669株	31,800,000株
決算期	3月31日	3月31日
従業員	1,349名	414名
店舗数	98店舗（うち有人78店舗）	39店舗（うち有人32店舗）

#### 【直前事業年度の財政状態および経営成績（2021年3月期単体ベース）】

名称	株式会社福井銀行	株式会社福邦銀行
総資産	35,042億円	4,852億円
純資産	1,273億円	206億円
預金残高	27,837億円	4,367億円
貸出金残高	18,010億円	3,131億円
経常利益	31.2億円	4.6億円
当期純利益	20.2億円	2.7億円

### 4. 日程

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| (1) 両行取締役会決議日     | 2021年5月14日     |
| (2) 本資本業務提携契約締結日  | 2021年5月14日     |
| (3) 福邦銀行定時株主総会    | 2021年6月24日（予定） |
| (4) 本第三者割当増資の払込期日 | 2021年10月1日（予定） |

※上記日程は、各社において必要な株主総会・取締役会の機関決定および金融当局・公正取引委員会への届出、許認可の取得等を前提としております。

## 5. 今後の見通し

本第三者割当増資の実施により、福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる予定です。福井銀行の連結業績への影響については、判明次第速やかに公表いたします。

以 上

# Fプロジェクト

Future for Fukui &  
Fukuibank & Fukuhobank

～ 地域経済の発展とお客さまサービスの向上に向けた連携 ～



いつも、いつでも、いつまでも。  
**福井銀行**



ゆめBANK  
**福邦銀行**

2021年5月

## 【目次】

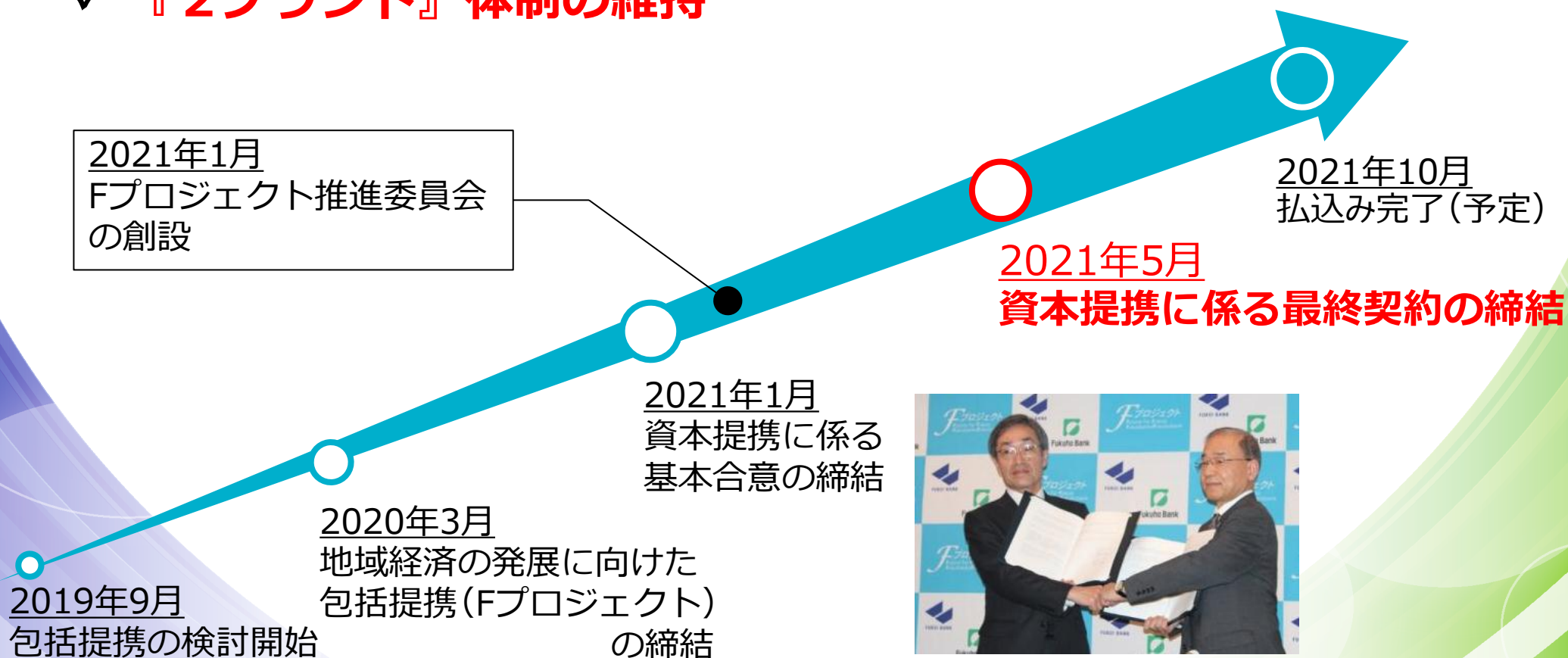
1. 資本提携締結までの歩み
2. 資本提携の概要
3. シナジー効果の最大化・最速化
4. 新グループ体制
5. シナジー効果の概算

# 1. 資本提携締結までの歩み

## 1. 資本提携締結までの歩み

### ■ 2021年5月14日、資本業務提携契約書の締結

- ✓ 『Fプロジェクト』のシナジー効果の最大化・最速化
- ✓ 『2ブランド』体制の維持





## 1. 資本提携締結までの歩み

これまでの主な連携施策（お客さま・地域に対して）

### ■ 商談会・セミナーの共同開催

- ✓ 事業継続・承継・引継相談会(福井・丹南・小浜)
- ✓ 三越伊勢丹バイヤーミーティング
- ✓ フレッシュヤーズセミナー
- ✓ 勝山道の駅での商談会

### ■ コンサルティング機能の強化

- (人材支援の取組みとして)
- ✓ 先導的人材マッチング事業の共同採択
  - ✓ 「ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点」へ人材派出

### ■ 商品・サービスの共同提案

- (新型コロナ対策として)
- ✓ 「GW特別相談窓口」の同時設置
  - ✓ 両行と日本政策投資銀行で「災害対策業務協力協定」締結
  - ✓ 「近畿中部広域復興支援ファンド」へ共同出資
  - ✓ 両行と日本政策金融公庫で「新型コロナ対策経営強化連携融資」創設

### ■ キャッシュレス推進

- ✓ 「JURACA」共同募集
- ✓ 「JURACA」春得キャンペーン



# Fプロジェクト

## 1. 資本提携締結までの歩み

これまでの主な連携施策（効果的・効率的な業務運営に向けて）

### ■ 店舗戦略の連携

- ✓ Bank in Bank（小松支店）
- ✓ 店舗敷地の共同利用（福井銀行三国支店に福邦銀行移動ATM車が巡回、福井銀行三番通出張所に福邦銀行ATM設置）



小松支店



福井銀行三国支店



福井銀行三番通出張所

### ■ ATMの共同利用

- ✓ ATMサイン変更（福井銀行小松支店・三国支店・大野支店・三方支店）



# Fプロジェクト

## 1. 資本提携締結までの歩み

これまでの主な連携施策（効果的・効率的な業務運営に向けて）

### ■ サブシステム等の共同利用

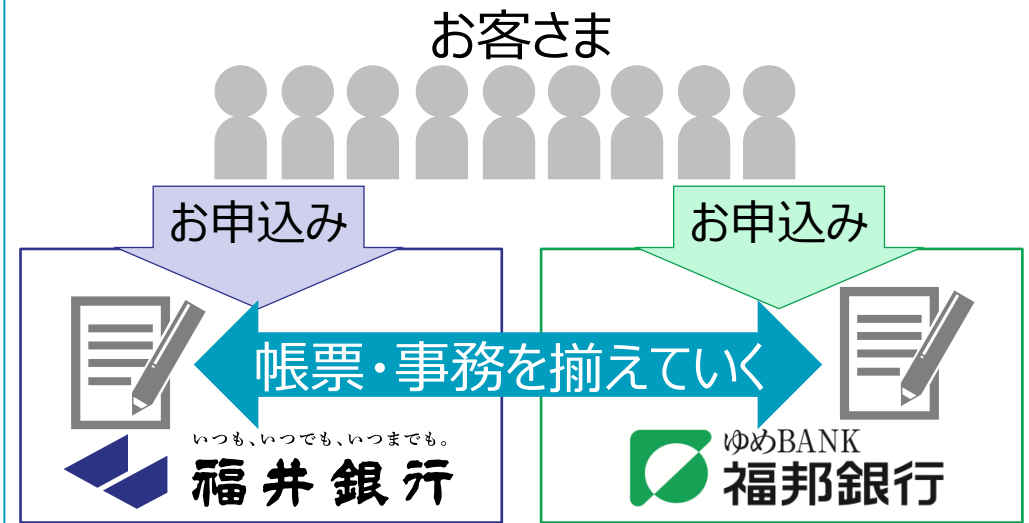
- ✓ クラウド基盤の共同利用（福井銀行クラウドサーバーへ福邦銀行分散系システムを移行）
- ✓ CRM（顧客情報管理）システムの共通化（福邦銀行が福井銀行と同じCRMシステムを導入、福井ネット（株）が導入・利用サポートを受託）



### ■ 事務の共通化

- ✓ 税公金収納代理業務の共同化（福邦銀行代理業務を福井銀行が受託）
- ✓ 後見制度支援預金事務の共通化
- ✓ 新規PCのキitting作業（福邦銀行PCを福井ネット（株）が受託）
- ✓ 本部為替業務の共同化（福邦銀行打鍵業務を福井銀行が受託）

事務の共通化イメージ



# Fプロジェクト

## 1. 資本提携締結までの歩み

これまでの主な連携施策（人の融合・未来に向けて）

### ■ 人財交流

- ✓ 事業承継分野における人財派遣（福邦銀行から福井銀行へ職員1名派遣）

### ■ 地域価値向上に向けたSDGsの浸透

- ✓ 両行が「福井県SDGsパートナー」に加盟

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### ■ 人づくり塾の共同開催

- ✓ Fデザインの実施（福井と両行の未来の創造に向けて、両行職員の一体感をデザインしていく取り組みとして、若手中堅職員に両行頭取も交えたディスカッションを実施）



# Fプロジェクト



いつも、いつでも、いつまでも。  
福井銀行



ゆめBANK  
福邦銀行

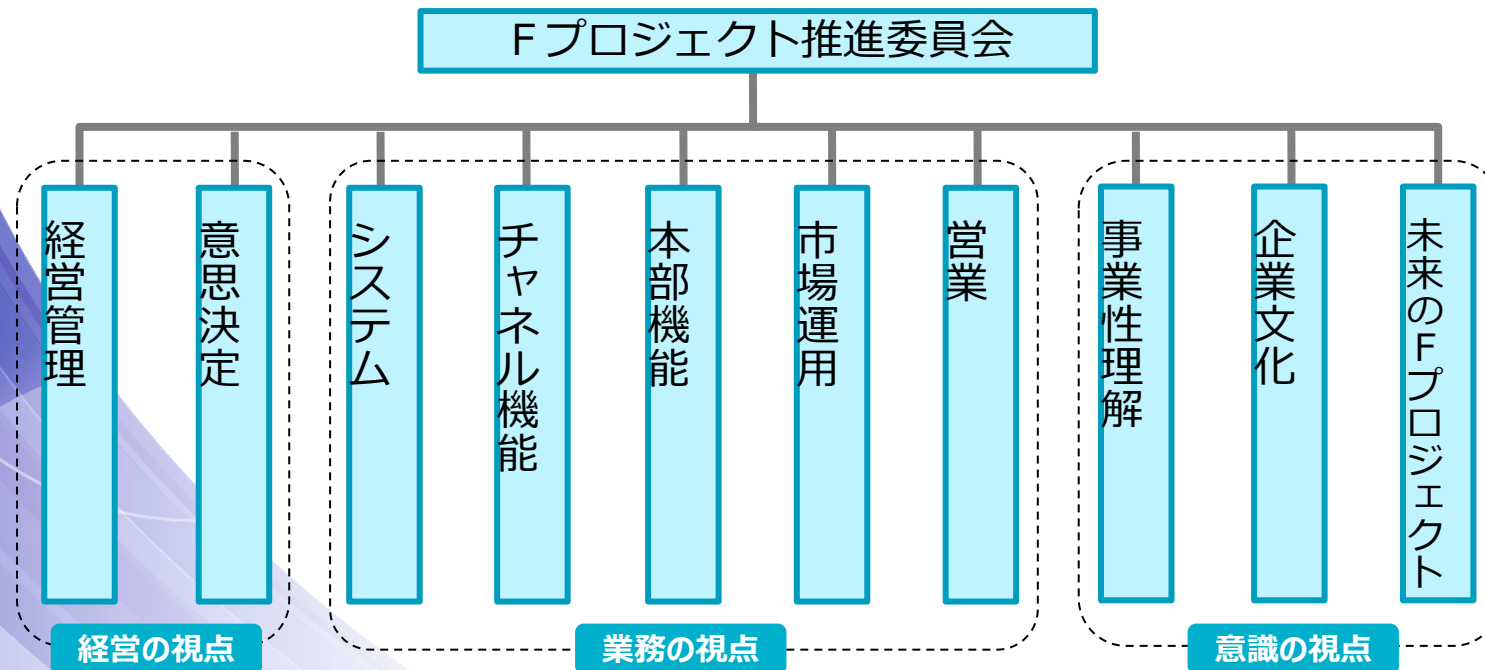
Future for Fukui & Fukuibank & Fukuobank

## 1. 資本提携締結までの歩み

これまでの主な連携施策（人の融合・未来に向けて）

### ■ Fプロジェクト推進委員会の創設

- ✓ Fプロジェクトの加速と深化、業務提携におけるシナジー効果の最大化・最速化に向けて両行横断型のFプロジェクト推進委員会を新設
- ✓ 3つの視点から複数テーマのワーキンググループを組成して活動中



## 2. 資本提携の概要

## 2. 資本提携の概要

- 福邦銀行は、福井銀行を割当先とする第三者割当の方法により、普通株式を発行し、福井銀行はその全部を引き受けます。

発行する株式および引受の概要	
種類および株式数	普通株式 33,333,334株
1株当たりの払込金額	150円
払込金額の総額	50億円
払込期日	2021年10月1日（予定）
福井銀行が取得する福邦銀行の議決権比率（※）	51.98%

（※）議決権比率について

福邦銀行の2021年3月31日現在の総株主の議決権の数（30,797個）に、本第三者割当増資により増加する議決権の数（33,333個）を加算したものを分母とし算定

（前提条件）

- 福邦銀行の公的資金の返済
- 福邦銀行の定時株主総会における第三者割当増資の承認
- 公正取引委員会の独占禁止法にかかるクリアランス取得
- 関係当局（金融庁、預金保険機構など）の認可、承認

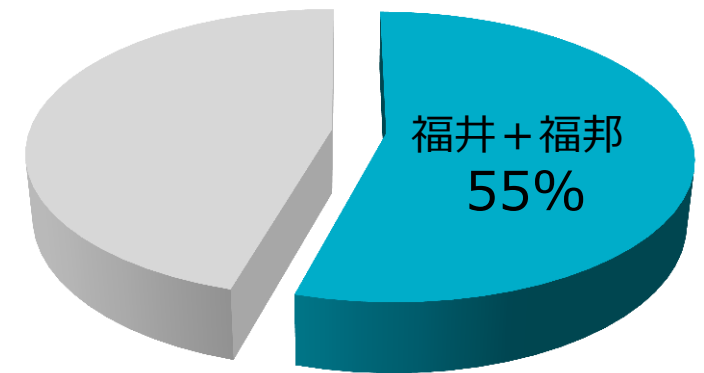
# Fプロジェクト

## 2. 資本提携の概要

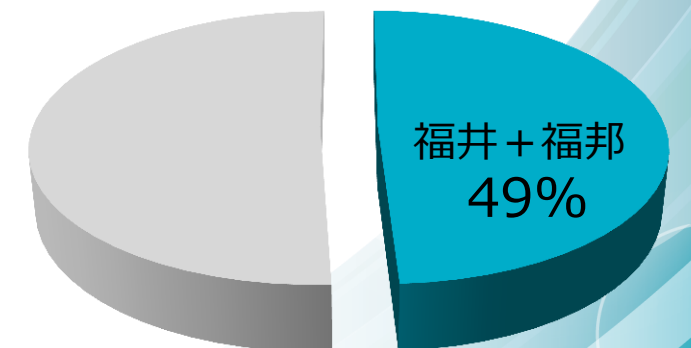
- 両行のグループ化により、預金残高(3.1兆円)、貸出金残高(2.1兆円)の金融グループが誕生します。

	福井銀行(連結)	福邦銀行(連結)	単純合算
店舗数 ( 有 人 ) 店	78	32	110
従業員数 名	1,448	411	1,859
預金残高 億円	26,720	4,365	31,085
貸出金残高 億円	17,901	3,133	21,034
経常収益 億円	423	87	510
経常利益 億円	42	4	46
当期純利益 億円	25	2	27
事業性融資先 先	10,985	4,772	15,757
消費者ローン先 先	62,887	12,916	75,803

福井県内の預金シェア



福井県内の貸出金シェア



※2021年3月末基準のデータ



### 3. シナジー効果の最大化・最速化

# Fプロジェクト



いつも、いつでも、いつまでも。  
福井銀行



ゆめBANK  
福邦銀行

Future for Fukui & Fukuibank & Fukuhobank

## 3. シナジー効果の最大化・最速化

**F** 未来  
Future

FOR

**F** 福井  
Fukui

福井を中心とした地域の  
持続的発展

地域・お客さま

持続的発展

**F** 未来  
Future

FOR

**F** 福井銀行  
Fukuibank

&

**F** 福邦銀行  
Fukuhobank

福井銀行・福邦銀行の  
持続的発展

いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行



ゆめBANK  
福邦銀行

# Fプロジェクト

## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ①お客さま・地域に対して

～北陸新幹線延伸を見据えたサービスの高度化・多様化によるGRP（地域内総生産）増加への貢献～

- 観光地域商社の共同運営
- 人材派遣・人材紹介会社の共同運営
- まちづくりの協働
- 地域内M&A・ビジネスマッチングの協働
- グループ会社の共同利用
- 協調融資の共同アレンジ

### ②効果的・効率的な業務運営に向けて

～コスト削減と経営資源再配分による地域を支えるための経営体質強化～

- 店舗戦略の連携強化
- 共同ATMの拡充
- 営業店窓口端末の共通化（タブレット化）
- 本部機能の統合

### ③人の融合・未来に向けて

～地域と両行の未来を創造できる人財の創出～

- 地域と両行の未来創造に向けた企画（Fデザイン）の推進
- 人財交流の実施（コンサル・システム等）
- 共同研修（分野別・階層別）の実施

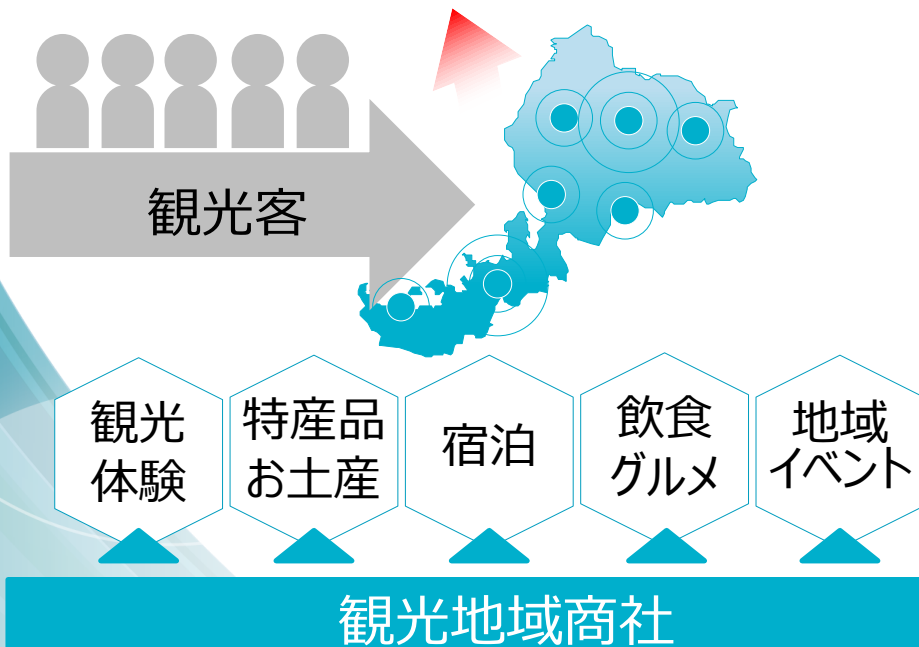
# Fプロジェクト

## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ①お客さま・地域に対して

#### ■ 観光地域商社の共同運営

- ✓ 北陸新幹線の敦賀駅延伸を見据えて、インバウンド向け観光商品の開発ならびに販売等を行う地域商社の共同運営等を通じて、交流人口をふやし地域活性化に貢献します。



#### ■ 人材派遣・人材紹介会社の共同運営

- ✓ 福井県内企業の人材ニーズに対し、外部の人材紹介会社との連携による専門人材の紹介や、両行OB・OGの派遣あるいは紹介を共同運営し、両行の取引先企業の成長・発展に貢献します。



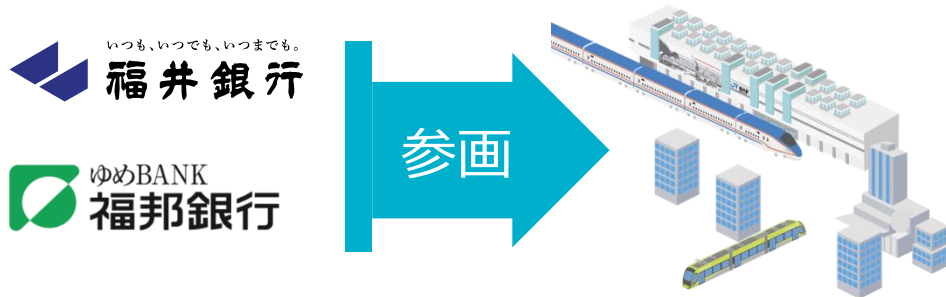
# Fプロジェクト

## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ①お客さま・地域に対して

#### ■ まちづくりの協働

- ✓ 自治体との連携や福井駅を中心とした北陸新幹線停車駅の駅前再開発事業へ参画します。



#### ■ 協調融資の共同アレンジ

- ✓ 複数の金融機関と協調して地域やお客さまの資金調達ニーズに対応します。

#### ■ グループ会社の共同利用

- ✓ 福邦銀行のお客さまに対して福井銀行のグループ会社を紹介して多様なニーズに対応します。

#### ■ 地域内M&A・ビジネスマッチングの協働

- ✓ 地域内のM&Aを主導し、事業承継支援を強化することにより事業と雇用を存続させて働く場所・働く人をふやします。
- ✓ 新たな販売先や仕入先等、お客さまの課題を解決できるビジネスパートナーを相互に紹介します。

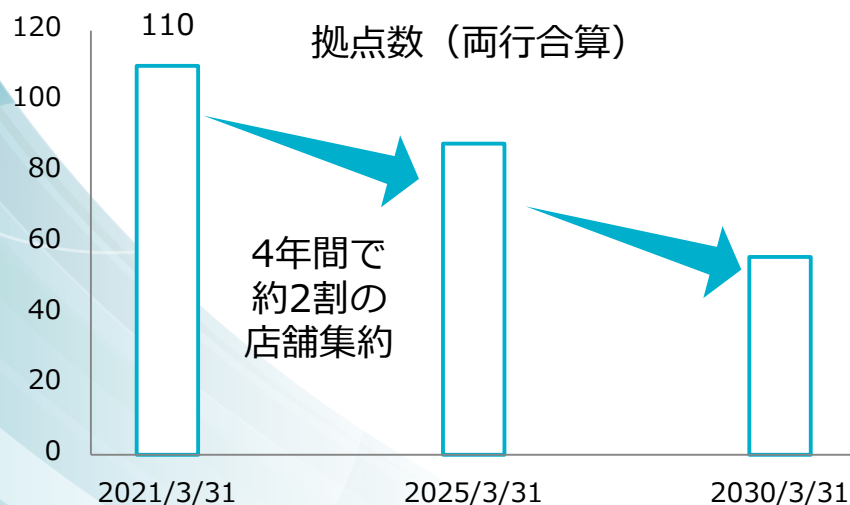


## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ② 効果的・効率的な業務運営に向けて

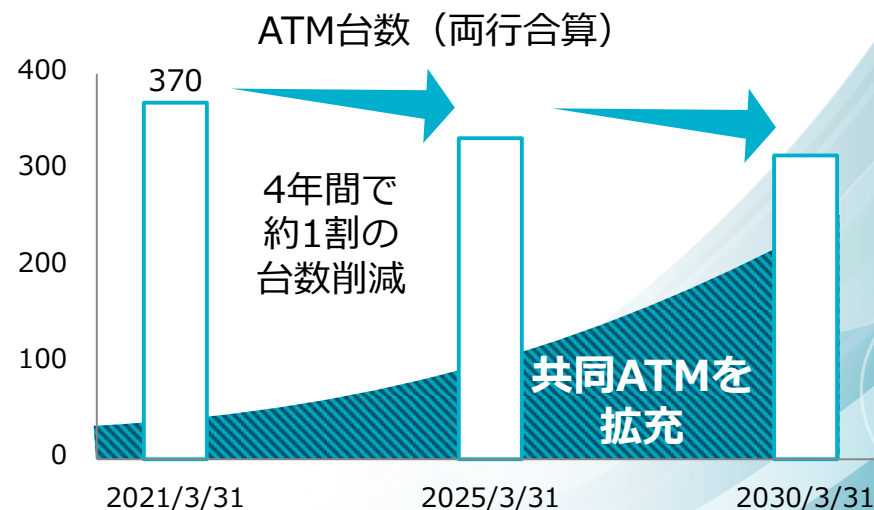
#### ■ 店舗戦略の連携強化

- ✓ 来店者数の減少や来店目的の多様化
- ✓ 営業エリア内における店舗の重複解消による店舗ネットワークの最適化を図るため店舗再編(Bank in Bank・Branch in Branch) をすすめます。
- ✓ 人員再配置(営業・コンサル担当者拡充)による課題解決力の強化します。



#### ■ 共同ATMの拡充

- ✓ キャッシュレス時代の到来
- ✓ 店舗内外での同一拠点において台数見直しとともに共同ATMの設置をすすめます。
- ✓ 利便性の維持とコストの削減を図ります。



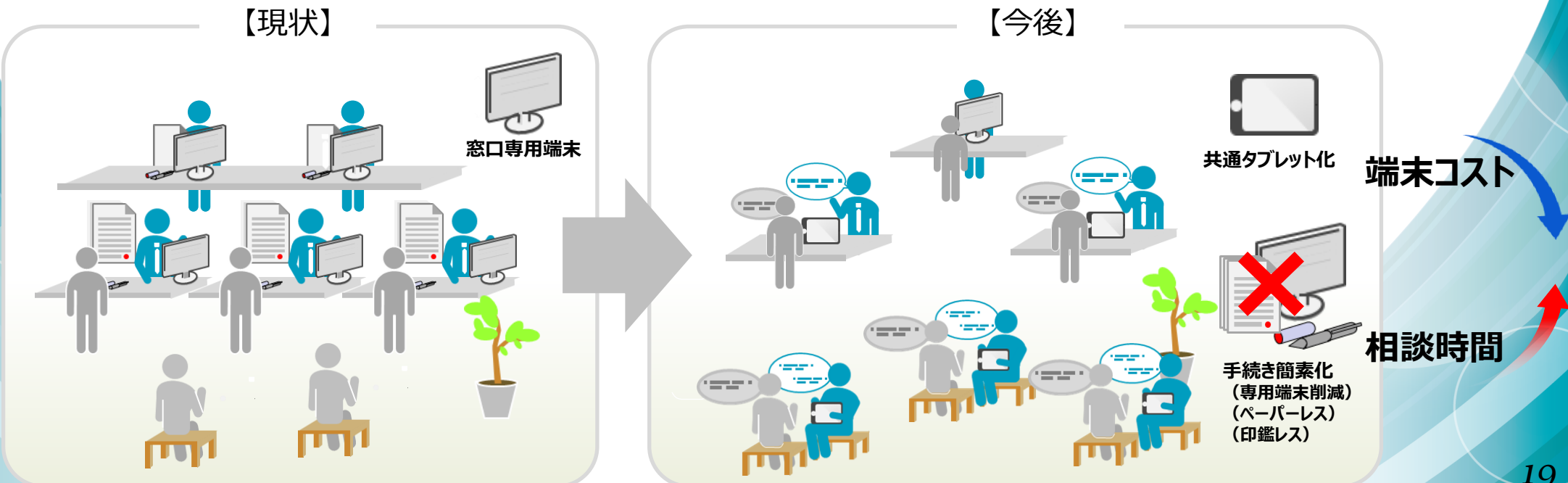
## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ②効果的・効率的な業務運営に向けて

#### ■ 営業店窓口端末の共通化（タブレット化）

- ✓ 事務の効率化とコストの削減を図るため、両行勘定系システム（BeSTA/STELLA CUBE）を運営するNTTデータが提案するサービス（営業店に設置している従来の専用端末から共通タブレットへ移行）等の導入を両行で検討します。

- ✓ 事務の効率化により捻出した時間をお客さまからの相談業務に充てていきます。

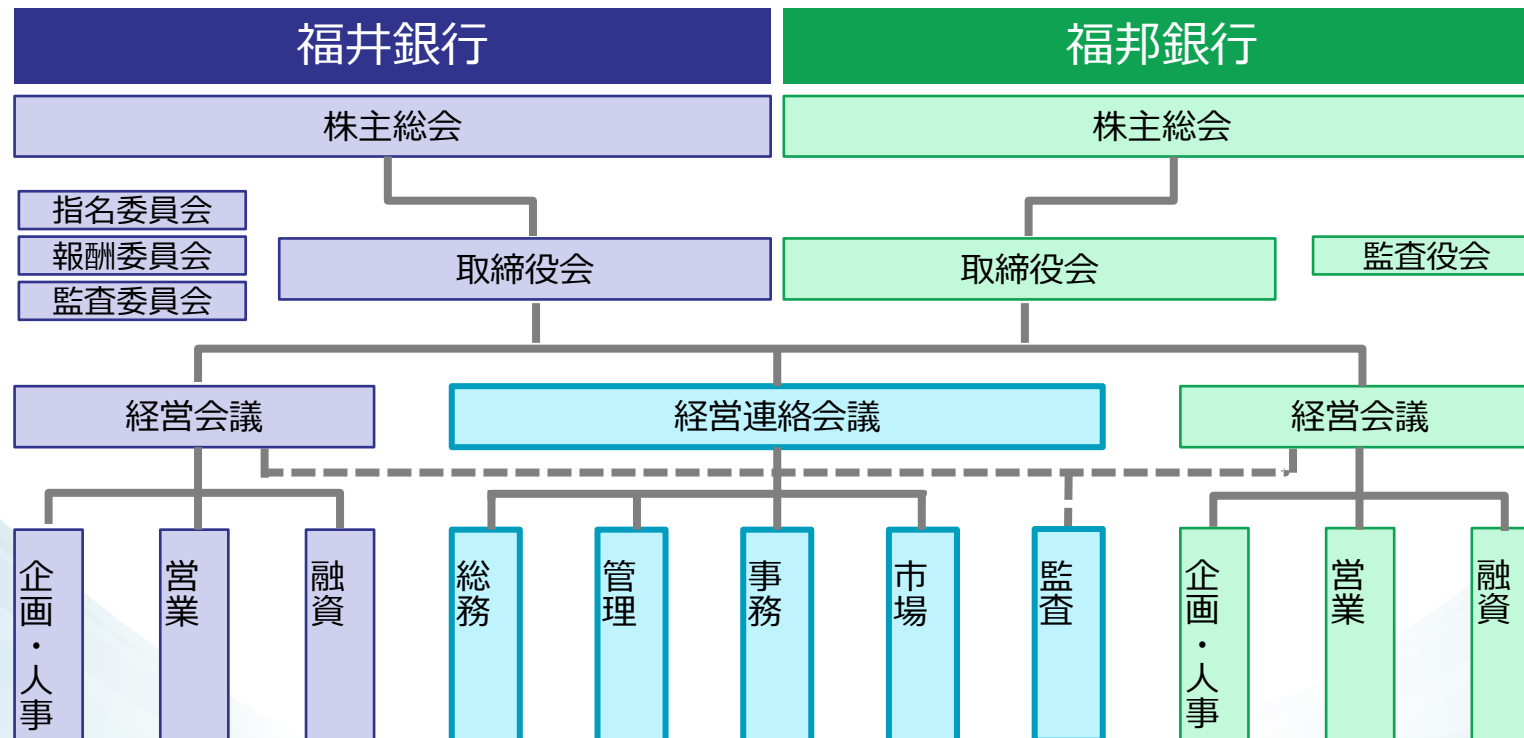


## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ② 効果的・効率的な業務運営に向けて

#### ■ 本部機能の統合

- ✓ 営業部門・融資部門・一部企画部門以外の本部機能・人員を同一拠点に集約して、事務フロー・システム・ネットワーク等の共通化を図りながら効率的な業務運営を行います。
- ✓ 人員適正化を図り、創出人員を重点分野へ再配置します。





## 3. シナジー効果の最大化・最速化

### ③ 人の融合・未来に向けて

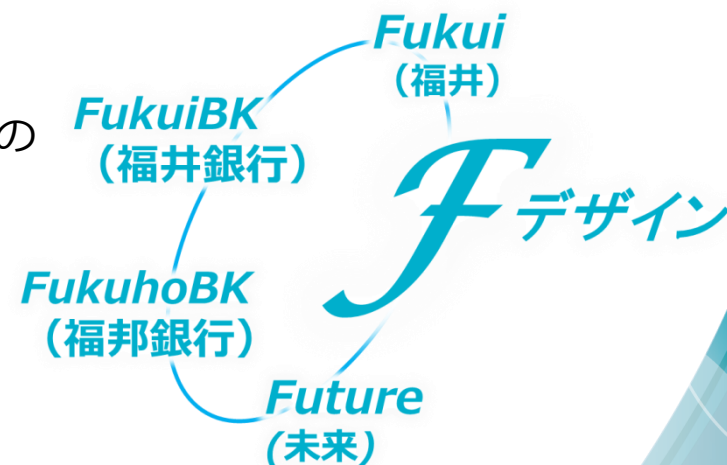
#### ■ Fデザインの推進

- ✓ 地域と両行の未来の創造に向けて、両行職員の一体感をデザインしていく取組みとしてはじめた「Fデザイン」を推進します。
- ✓ 複数テーマの活動を通して心の融合と相互の成長を図り、地域と両行の未来を創造（両行の理念を実現）できる人財を創出します。



Fプロジェクト推進委員会

未来のFプロジェクトWG  
呼称：Fデザイン（人づくり塾）



福井の未来



民間企業や官公庁の職員も交えて福井の未来をテーマにした活動を行います。

ビジョン



両行の未来観・未来像・戦略を織り込んだ長期ビジョンを検討します。

組織風土



両行の組織風土改善に向けて実現可能性の高い取組みを積み上げていきます。

ダイバーシティ  
(女性活躍)



女性活躍に向けた職場理解浸透を図る社内広報活動や交流会を行います。

人財開発



福井の未来を創造できる人財の育成を目標に若手職員を対象にした研修を行います。

## 3. シナジー効果の最大化・最速化に向けた取組み

### ③人の融合・未来に向けて

#### ■ 共同研修・人財交流の実施

- ✓ 1年目から支店長クラスまでの階層別や分野別（コンプライアンス・海外支援・経営改善支援等）の共同研修を実施します。また、コンサルやシステム等の専門分野におけるトレーニー派遣を実施します。
- ✓ 両行職員の意識や文化の融合・専門的なスキルの習得を強化します。

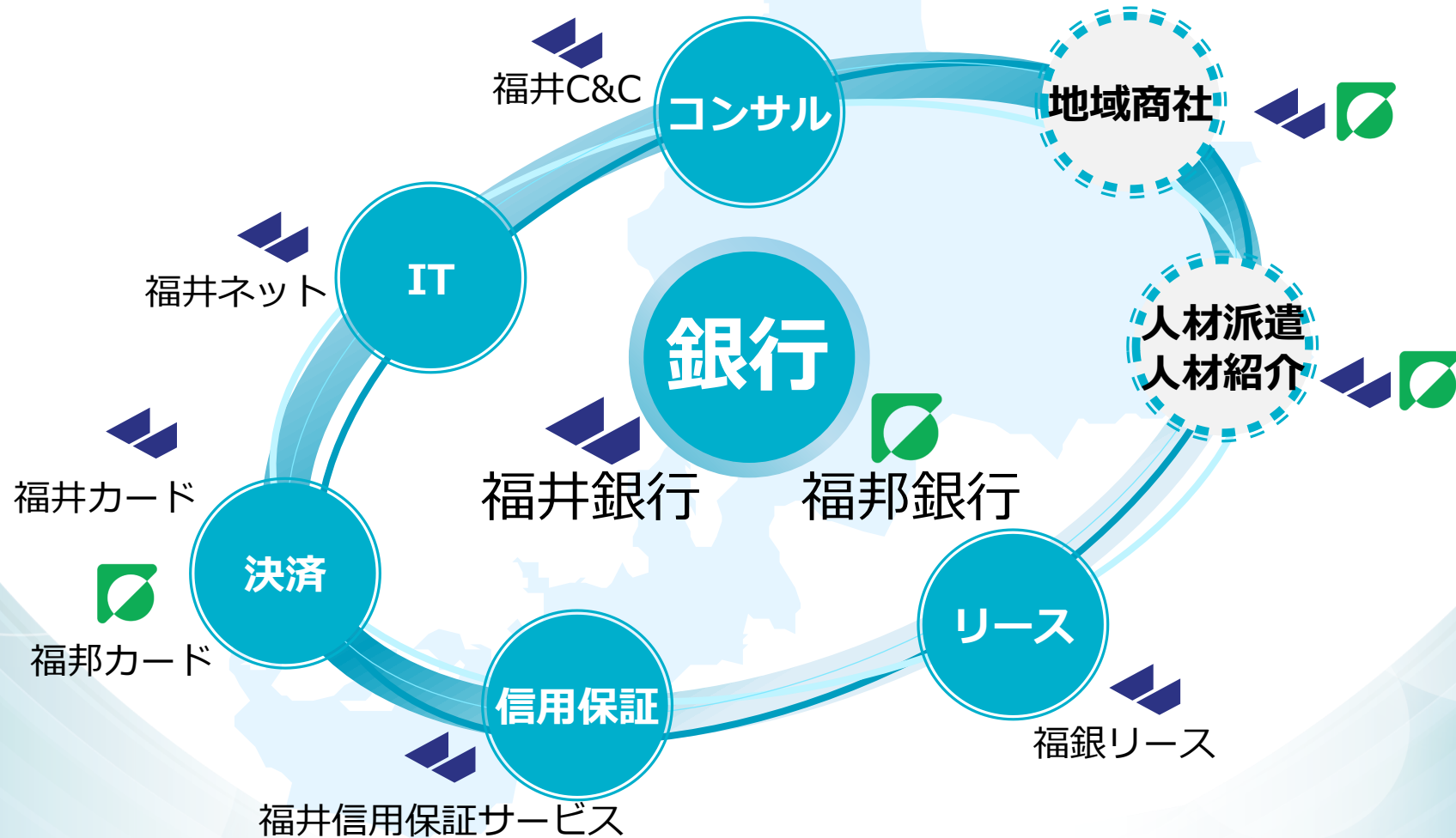


## 4.新グループ体制

# Fプロジェクト

## 4.新グループ体制

- 福井銀行と福邦銀行は、1つのグループとして、グループ会社の機能を活用し、総合金融サービスを提供することにより、地域（両行グループのお客さま）の発展に貢献してまいります。



## 5. シナジー効果の概算

## 5. シナジー効果の概算

➤ 2020年4月～2025年3月における両行グループ合算での期待するシナジー効果は下記の通りです。

### ■ お客さま価値向上（トップライン）

- ✓ 人員再配置により新規事業の展開や地域・お客さまに新たな価値を提供

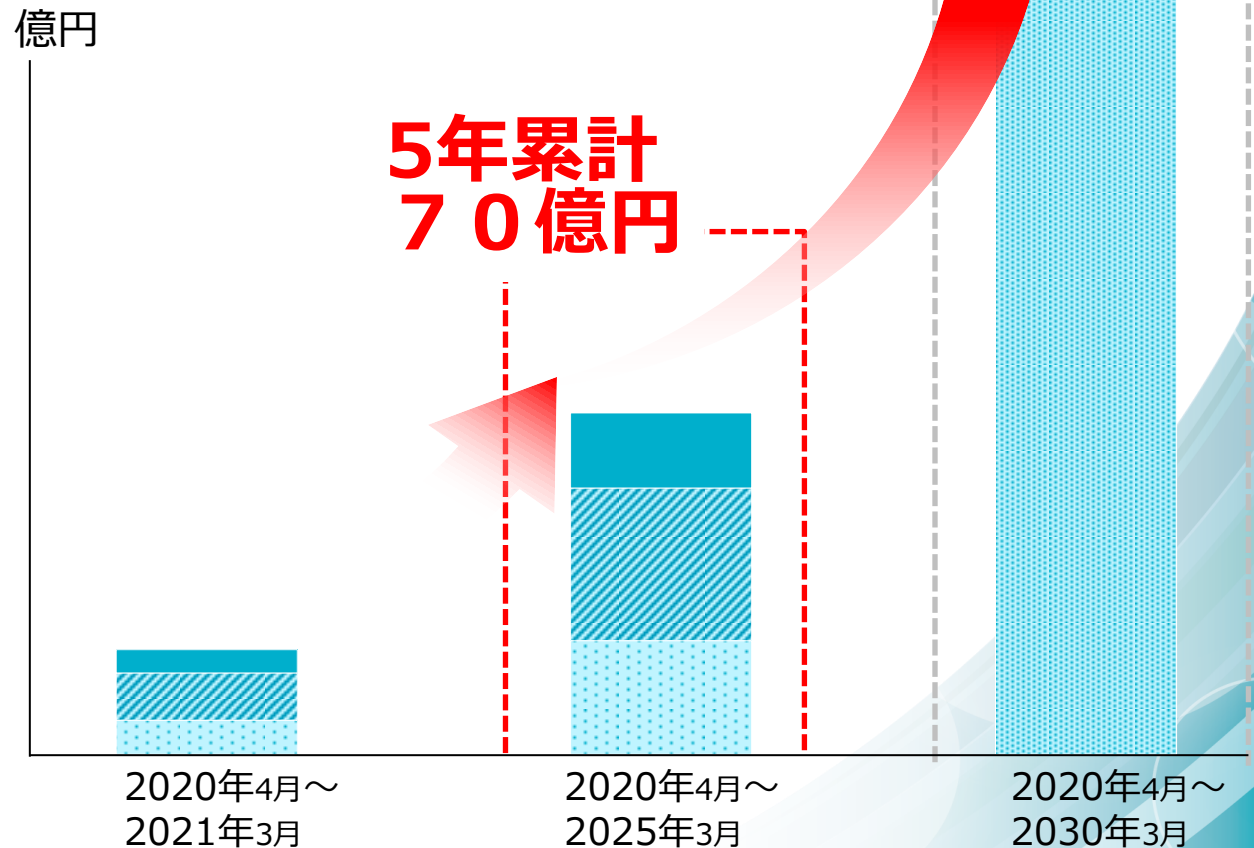
### ■ 投資抑制

- ✓ 店舗・ATM戦略の連携やシステム共同利用により新規投資を抑制

### ■ 体質強化（コスト削減）

- ✓ 店舗・ATM戦略の連携や本部機能の統合によりコストを削減

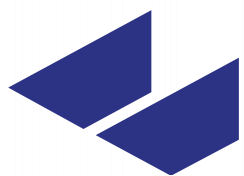
10年累計 180 億円超



各種施策ならびに効果の概算の見積りにつきましては、「Fプロジェクト推進委員会」において協議し、方向性について合意した内容に基づいております。  
本資本業務提携契約以降、関係当局による認可・承認等ならびに両行における必要な機関決定を前提とする内容を含んでおります。

# Fプロジェクト

Future for Fukui &  
Fukuibank & Fukuhobank



いつも、いつでも、いつまでも。

**福井銀行**



ゆめBANK

**福邦銀行**